

# 水素ステーション実証施設 来秋、富山に設置

## 県内初

富山市環境センターに来―シヨンの実証施設が設置  
秋、県内で初めて水素ステ―される。太陽光からエネル  
ギーを生み出  
し、水素を作る  
設備となる。  
施設は、1日  
当たり燃料電池  
自動車2台をフ  
ル充填できる  
量の水素を生  
産する規模とな  
る。

2020年に県内で商業  
用の水素ステーションの設  
置を目指す富山水素エネル  
ギー促進協議会などが13  
日、高岡市の高岡商工ビル  
で取り組みの周知を図るセ  
ミナーを開き、参加者約60  
人に紹介された。

セミナーでは、環境省の  
職員が水素社会実現に向け  
た取り組みを紹介。アルハ  
イテック(高岡市)の水木  
伸明代表取締役専務はアル  
ミを含む廃棄物から水素を  
発生させる装置「エ小僧」  
などについて説明した。県

立大環境・社会基盤工学科  
の脇坂暢准教授の指導で、  
太陽光やアルミから水素を  
発生させる体験も行われ  
た。



## 水素エネ活用法 先進事例に理解

### 高岡でセミナー

水素エネルギーの普及・促  
進について考えるセミナーは  
13日、高岡市の高岡商工ビル  
で開かれ、出席者約60人が再  
生可能エネルギーとアルミニ  
ウムの活用法、国内の先進事  
例に理解を深めた。写真。

富山水素エネルギー促進協  
議会、県アルミ産業協会、県  
新世紀産業機構水素インフラ  
研究会、北陸グリーンエネル  
ギー研究会が開いた。

環境省地球温暖化対策事業  
室の高橋和也さんが、水素は  
化石燃料から製造して二酸化  
炭素を排出する場合は多いこ  
とから、低炭素化を強化する  
必要性を解説。地域連携の実  
証事業として全国の8事例を  
紹介し、北海道室蘭市では風  
力発電で製造した水素を温泉  
施設の燃料電池で利用予定で  
あることなどを説明した。

アルミから水素を生む小  
型装置を製品化したアルハイ  
テック(高岡市オフィスパー  
ク)の水木伸明専務は、工場  
の端材の原料化やアルミの循  
環利用といった将来の見通し  
を語った。太陽光やアルミか  
ら水素を発生させるワークシ  
ョップも行われた。

